

将来の夢を叶えるために

楽天イーグルス未来塾

7月16日、元プロ野球選手で東北楽天ゴールデンイーグルスアカデミーコーチの岩崎達郎さんが白川小学校を訪れ、「楽天イーグルス未来塾」を開催しました。この取り組みは、同球団ベースボールスクールのアカデミーコーチと東北ゴールデンエンジェルスメンバーが講師として、子どもたちに夢や希望を持つ大切さを、体験談などを交えながら伝えるものです。

岩崎さんは、自身がプロ野球選手を目指したきっかけや、夢をつかむまでの取り組み、11年間の現役生活や引退してから現在までのさまざまな経験を見聞に語りました。そのなかで、挫折してもあきらめず夢をつかんだ岩崎さんは「何事も失敗を恐れず、あきらめずにチャレンジしてほしい」と話していました。

講話を聞いた児童は「あきらめないことが、夢を叶える最初の一步だと感じました」と話してくれました。



1_ 4～6年生の児童30人と一緒に記念撮影する岩崎さん
2_ バッティング体験でティーバッティングする児童
3_ 岩崎さんの話を真剣に聞きました

白石伝統の技と文化に触れて

白石和紙づくり体験

7月9日、小原中学校で「白石和紙づくり体験」が行われ、生徒14人が白石和紙を使った作品づくりに取り組みました。この取り組みは、生徒に白石和紙の良さと白石の文化への理解を深めてもらおうと、白石和紙の伝承に取り組む団体「蔵富人」の協力を得て行われました。

この日は白石和紙の歴史や特長について学んだあと、白石和紙を使ったうちわと文鎮を製作しました。うちわは竹で組んだ骨組みに和紙を貼り合わせ、文鎮はちぎった和紙を石に貼り重ねて磨いたもの。生徒は真剣な表情で作品を作り上げ「白石和紙がいろいろなものに使えるんだと初めて知りました」と話してくれました。作品は、8月9日から20日まで壽丸屋敷で開催される「白石和紙あかり展」で展示されます。

同校では今後、白石和紙の原料「虎斑楮（カジノキ）」の収穫体験や、3年生の卒業証書に使用される白石和紙の紙漉きを行う予定です。



1_ 白石和紙を手にする生徒。和紙のあたたかみを感じました
2_ 完成したうちわを乾かして、色や模様を付けます
3_ 和紙を丁寧に石に貼り、磨くことでつやつやの手触りに

社会人の心構えを学ぶ

職業人によるマナー講座

6月21日、白石中学校で社会人としてのあいさつや言葉遣いを学ぶ「マナー講座」を開催しました。この講座は、同校2年生が行う職場体験学習に向けて、生徒に社会人としてのマナーを学んでもらおうと開催し、今年で2回目。講師に仙南信用金庫の職員を招き、生徒は話し方や電話のかけ方、お辞儀の仕方などを教わりました。生徒は「正しいあいさつや礼儀を学びました。職場体験に生かしたいです」と話してくれました。



▲笑顔で心掛けてあいさつする生徒

海外で交流と友情を深めます

オーストラリア友好親善訪問団結団式

7月16日、オーストラリア・カウラ市を訪れる友好親善訪問団の結団式を行いました。本市の国際交流事業の一環として行われるこの事業は、日本と縁あるカウラ市を本市の中学生8人が訪問し、ホームステイや現地校での文化交流などを通して、豊かな国際感覚を育んでもらおうとするもの。7月24日の出発を前に行われた結団式で、生徒は「現地で感じたことや学んだことを、日々の生活に生かしたいです」と決意を表明しました。



▲訪問団の生徒と引率者の皆さん

思いやりの心を育てよう

人権の花運動

6月26日、越河小学校で人権の花運動を行いました。この運動は、市内の児童に花を育ててもらうことで生命の尊さを実感し、優しさと思いやりの心を学んでもらおうと取り組んでいます。この日は同校の児童42人が、人権イメージキャラクターの「人KENまもるくん」と「あゆみちゃん」から贈呈されたマリーゴールドの苗をプランターに植えました。児童は「お花をきれいに植えられました」「友達や家族と仲良くしたいです」と話してくれました。



▲プランターに42本のマリーゴールドを植えました